

平成26年第3回(9月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
1 (22番) 横尾 秋洋	1 大型改修工事等の結果について	(1) 共同調理場改修工事について
		(2) 小・中学校の空調設備設置工事について
	2 市長の市政運営について	(1) 市長就任3年8カ月の総括について
		(2) 市長2期目に向けての想いについて
2 (3番) 辻本 美恵子	1 災害時避難について	(1) 避難勧告の判断は、いつ、どのような基準とするのか。
		(2) 避難勧告後、行政としてはどのような行動をされたのか。
		(3) エリアメールなどで避難勧告を知った市民は、どのような行動をすることになるのか。
		(4) 各行政区では、どのような行動をすることになっているのか。
		(5) 避難所運営は、どのような手順でおこなわれるのか。
	2 子どもにやさしいまちづくりの推進について	(1) 子ども条例の周知はどのようにしているのか。
		(2) 子どもたちは、相談したいと思った時に、どこに連絡すればよいのか。
		(3) 救済機関では、これまで、どのような活動があったのか。
	3 コミュニティづくりについて	(1) 各地区での活動状況、検討状況について
		(2) 各地区でのコミュニティの課題は何か
		(3) コミュニティの運営に係る人材の育成について
		(4) コミュニティの運営に係る権限と財源について
3 (13番) 岡部 征紘	1 買物弱者対策について	(1) 現状について
		(2) 課題と今後の対応について
4 (18番) 古瀬 富美子	1 安全・安心のまちづくりについて	(1) 徘徊高齢者の見守りについて
	2 肺炎球菌ワクチン接種事業について	(1) 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業の現状について
		(2) 対象者への周知方法について

平成26年第3回(9月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
5 (12番) 下成 正一	1 空き家対策について	(1) 空き家の状況・戸数の現状について
		(2) 空き家相談としてどのようなものがあったか。問題点はどのようなことが起きているのか。
		(3) 空き家対策と空き家の有効利用をどう考えるか。
		(4) 今後、増えると予想される空き家に対して市として措置を講じる条例制定が必要と考えられるが見解はどうか。
	2 AED(自動体外式除細動器)の設置について	(1) 市内のAEDの設置状況および使用状況について
		(2) AED設置に係る補助制度について
		(3) AEDの使用について講習会はどのようにして行われているのか。
		(4) AEDの24時間対応について
6 (6番) 中川 康隆	1 小中学校のトイレについて	(1) 小中学校の現状について
		(2) 今後の計画について
	2 就労支援について	(1) 資格支援事業について
	3 生徒の悩み相談について	(1) ヤングテレフォンの現状について
		(2) メールでの相談対応について
	7 (5番) 井上 剛士	1 ご当地ナンバープレートについて
(2) ご当地ナンバープレートの手続きについて		
(3) ご当地ナンバープレートの導入の課題と効果について		
2 定住促進事業について		(1) わが市の人口減少地域について
		(2) 将来の人口推移について
		(3) 定住促進について

平成26年第3回(9月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
8(15番) 城間 広子	1 産興1期処分場の浸出水が無処理で山神ダムに流入している実態について	(1) 産興正門付近の青トタンの溜水の水は、県は「雨水」と言うが、水温28℃、電気伝導率も高い。浸出水では。 (2) 産興の1期処分場の林道側の際のくみあげポンプが撤去され、浸出水が山神ダムに流れこんでいる状況について
	2 子どもの医療費無料化の拡充について	(1) 子どもの医療費の無料化を望む声大きいことを市は把握しているのか。 (2) 小学校卒業までの入院費助成で、年間どの程度の市のもちだしになるか。 (3) 通院、入院とも小学校まで無料にした場合、中学校まで無料にした場合、どの程度の予算が必要になるか。
	3 「いじめ」のない学校と社会を	(1) 「いじめ半減」などの数値目標設定は、「いじめ隠し」につながりかねない。対応は。 (2) 一般紙の調査では、7割の教員が「いじめ」対応の時間が足りないと答えている。対策は。 (3) 「運動会を通じ団結ができ『いじめ』になりそうになっても『やめなよ』と言えるようになった」例について
	4 二日市北小学校体育館の倉庫設備について	(1) 二日市北小学校の体育館は、構造的に、体育用具を収納する倉庫が極端に狭い。改善すべきでは。
9(16番) 篠原 範子	1 生活交通の保障・コミュニティバスについて	(1) 市民の移動権について見解を聞く。 (2) 地域公共交通活性化法改正に基づいての地域公共交通網形成計画、実施計画についての取組について聞く。 (3) コミュニティバスの早期実現を求める声は切実である。自治体の責務として取り組むべきではないか。
	2 商店リニューアル助成制度について	(1) 全国で実施されている商店リニューアル助成制度の地域経済への波及効果についてどのように考えるか。 (2) 小規模経営者の支援策として実施すべきではないか。
	3 安心して住める住宅支援について	(1) いわゆる同和住宅を一般市民にも開放すべき (2) 民間賃貸住宅を借り上げ公営住宅の充実をすべきではないか。 (3) 高齢者住宅相談支援事業を取り組んではどうか。
10(9番) 尾野 正義	1 女性職員の力を活かして活性化を計る	(1) 女子職員を役職者に多く起用 女子の力を活かしてはどうか
11(1番) 武光 誠	1 命の教育について	(1) 命の教育の現状について
	2 高齢者問題について	(1) 介護支援サービス見直しについて
12(7番) 宮原 智美	1 小中学校での集団フッ素洗口について	(1) 市内小中学生の虫歯の状況について (2) フッ素洗口の安全性について (3) 学校での集団フッ素洗口の実施について

平成26年第3回(9月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目	
13 (19番) 田中 允	1 筑紫野市中小企業振興基本条例の制定について	(1) 地域産業を考える会による1,000人集会で「地場主義宣言」がなされたが市長の所見を問う。 (2) 藤田市長が就任され地場産業の育成に取り組まれた成果と課題について (3) 日本国内においても県やある市町等において「中小企業振興基本条例」を制定している自治体もあるが市長の所見を。 (4) 本市に於いても、中小企業振興基本条例を制定し、正しい中小企業の役割を定め地場業者との共働を提言する。	
	2 筑紫野市公契約条例の制定について	(1) 公共事業は競争入札によってより安価なものを求めがちだが、競争力の弱い地場企業が劣勢になっていることはないのか。 (2) 入札指名業者の選定に当っては、地域貢献度等どのように考慮されているのか。 (3) 野田市の条例では最低賃金制度や経営を一定維持できるような入札制度になっているが本市の状況は。 (4) 入札指名に際し実態の無い企業や有資格者の有無などどの様にチェックされているのか。 (5) 筑紫野市に於いても「公契約条例」の制定を求める。	
	3 学力テストの結果の公表について	(1) 学力テストの公表について、各種意見が分かれるところだが、一定の工夫をされても公表すべきではないか。 (2) 本年度から法改正により市町村で学校毎に結果を公表できるようになった。下位三県と上位の格差が縮小されたがどの様に捉えるか。 (3) 筑紫野市の結果についてどの様に捉えているのか成果と課題と今後の対応について (4) 子どもたちの学力底上げのため教員免許を持った市職員が指導したり大学生のボランティアが指導したりする自治体もある。本市の状況は。	
	4 平成26年8月豪雨災害について	(1) 筑紫野市全域に避難勧告が発令された経緯について (2) 人災がなく最悪の事態は回避されたが、今後の水害や崖崩れ等の災害防止のための対策について (3) 今回の豪雨災害を経験したことで今後の新たな課題とすべきことはなかったのか。	
	14 (8番) 上村 和男	1 障がい者の人権・福祉について	(1) 障がい者の人権・福祉関連の新法施行について
			(2) 障がい者が地域で生きていく上での課題について
			(3) 障がい者の人権・福祉の充実について